

2018 年度

# 活動報告

No.1 (4月～6月)

◆ **総会(落語・懇親会)** : 4月16日(土) 13:30～16:30 in「ぴゅあ総合」

参加者は再入会1名を含む20名でした。参加者の中には3年間にわたる台湾での家族滞在を終え3月に帰国、即再入会となった三井さん、昨年出産し一歳児を連れての参加となった黒崎さん。そして、昨年11月の大きな交通事故から生還した黒瀬さんの元気な姿など、例年にまして賑やかで嬉しい総会となりました。

今年度は役員改選の年です。長くご苦労いただいた4名(会計の種村さんと役員の飯久保さん、高石さん、丹沢さん)が退き、あらたに3名(会計に内田さん、役員に河内さん、千葉さん)が役員会メンバーに加わりました。役員の任期は2年です。どうぞよろしくお願いいたします。

議事では前年度の総括(活動報告、会計収支報告)に続き、議事案(役員案、活動計画案、予算案)を協議、全て承認されました。



議事に集中、後ろ姿で失礼します

**\*今年度の目標：「研修会」、「多文化交流会」、「会員交流会」を充実させます！**

日々の日本語学習支援を地道に続けながら、各活動のさらなる充実を目指します。

研修は会員が相互に高め合うことを基本に、時には外部から講師を招くなど、実践に役立つ「研修会」を企画していきます。

「多文化交流会」は、会員や受講者そして一般の方々を巻き込み、日本文化の体験を通して交流を深めます。

「会員交流会」が始まり2年になります。過去2年間は納涼会（7月）と新年会（1月）を開催しました。今年度も気楽な集まりを通して会員相互の親睦を深めます。

行事の企画や具体化については役員会メンバーで話し合い、ご提案します。

#### **\* 事務局の取り組み、など**

昨年度より、受講申込者の情報を事務局よりメールで一斉送信できるようになりました。地区の役員さんが手分けし電話で問い合わせたり調整したりしていた頃(つい数年前！)を振り返ると隔世の感があります。本会にもひたひたとインターネットが浸透しています。

事務局によると、受講者総数（継続者+新規申込者）はほぼ前年通りでした。なお、新規申込者数は「2015年：19名、2016年：26名、2017年：21名」と横ばいで推移しています。

新田小学校の学習支援は毎年2名の会員が関わり5年目が終了しました。今後も、新田小を含め、機会があれば外国籍児童の支援に関わっていきたいと考えています。

また他団体との連携も積極的に進めていきます。

#### **\* 検討課題**

議事の中で、繰越金の金額が多すぎる点についてご意見が出ました。

繰越金が増えている理由としては、2年前の組織の見直しに伴い、4件の支出(①地区別活動費 ②委員会活動費 ③新田小支援 ④県ボランティアセンターの団体会費)の合計として約5万円が不要になったことが挙げられます。

そのため繰越金が従来の2倍に相当する約10万円となりました。この金額は総額25万円の予算に対して占める割合が多すぎます。実は役員会でも話し合いましたが解決策が決まらず、総会時にご相談する予定のものでした。

議事やその後の懇親会の中でも色々なご意見が出ましたが、結論には至りませんでした。会員にとって有意義な使い方ができるよう、今後も話し合いを継続していきます。

## ◆ 落語ワークショップ



昨年に続き、墨亭河童こと川辺修作氏に講師をお願いし、「落語ワークショップ」を開催しました。

川辺氏は「山梨落語研究会」の旗揚げ以来のメンバーとして、様々な年齢の方を対象に落語を披露しておられます。なお、墨亭という名は幼時を過ごされた隅田川に由来す

ること。また、「日本笑い学会」会員でもあるそうです。

今回は大好きな演目だとおっしゃる「ちはやぶる」を披露していただきました。30分という短い時間でしたが、心温まる春の一時を過ごすことができました。河童さん、ありがとうございました。

## ◆ 懇親会

新会員の自己紹介、会員の活動紹介や情報交換を行い、親睦を深めました。

また、繰越金の有効活用の選択肢の一つとして、『はなしてみる甲斐』が話題になりました。

『はなしてみる甲斐』とは、会員有志が2年をかけて準備し2007年に完成した超入門日本語テキストです。寄付等を得て作成し200冊を販売しましたが、現在は絶版になっています。なお、会員は事務局からテキストの貸出しを受けコピーして利用できます。



飯久保さんの音頭で童心にかえり「ひとつひとつ体操」



### 〈 参加者の一言より 〉

- ・台湾で3年間生活した。食べ物は美味しく、気候も良い。
  - ・現在、支援活動はできていないが、会の集まりに参加するのは楽しい。
  - ・入会3年目。役員会メンバーに入ることになった。
  - ・役員会メンバーを退くことになった。現在担当しているのはベトナム人主婦。その夫はユニタス勤務だと聞いている。
  - ・南アルプス市日本語サロンのメンバーでもある。昨年度は合同で学習会を開催した。
  - ・入会2年目。行政書士として外国人と接している。
  - ・入会2年目。昨年から日本語学校で教えている。
  - ・多忙のため、役員会メンバーを退くことになった。「ひとつひとつ体操」を披露。
  - ・ペルー人を担当。役員会メンバーだが、仕事と義母の介護で活動が思うに任せない。
  - ・入会4年目。親の介護中。幽霊会員になりつつあるのが心配。
  - ・タイ人2名を担当。1名はN1受験対策、1名は警察通訳の漢字を読むのが目的。
  - ・事務長として情報を発信している。一斉メールが届いているか心配している。
  - ・入会5年目。アメリカ人英語教師を担当。相手のレベルに合わせて学習方法や指導方法を変えるように心がけている。
  - ・スリランカ人を担当。昨年N4に挑戦したが、12点足りず不合格だった。読解の時間が足りないのが切実な問題のようだ。
  - ・黒瀬さんの事故を新聞で見te、すぐに事務局に連絡した。現在、スイス人、韓国人を担当。持病のリウマチの薬の影響で首が辛いときがある。新田小支援を退くことにした。
  - ・インド、アイルランドからの5名を担当。
- クッキングクラスを実施したり、生活者にはスーパーのクーポンの説明をしたりしている。

(写真：小林な、報告：稲谷)



## ◆第1回会員交流会 ～タイから一時帰国中の村松さんを囲む夕食会～

6月9日(土) 17:30～19:30



顔が隠れてしまったのは内田さん、写真担当は小林(な)さん

研修会から引き続き参加の8名に2名が加わり参加者は合計10名です。黒一点の村松通久さんを熟女連が取り囲む図とあいなりました。

会場は「ぴゅあ総合」から徒歩5分の中国料理店です。五目焼きそばが名物とのことで8名が注文、2名は冷やし中華でした。そして、餃子を仲良くシェア、アルコールはなしです。

村松さんは、日々の思いを綴った2冊のエッセー集を準備してくれていました。旅行で行くには微笑みの国タイだけれど、生活者ともなると、滞在年数が増えても越えがたい異文化の壁が存在するとのこと。すかさず、「それ、ストレスね～」と共感の合いの手を入りました。

大学では日本語専攻は2名なのに対し、第2外国語のクラスは30名を超えているそうです。学生数が少なすぎても多すぎても外国語の授業はやりにくいものですが、色々工夫しながら乗り切っているそうです。又、授業の合間には学生たちと得意の合気道(3段)を楽しんでいるとのことでした。今後も新鮮なタイ情報を発信していただけることを期待してお開きとなりました。

(写真：小林な、報告：稲谷)